

出来事との距離

ニュースや戦争を描いた作品に触れるとき、時代や立場によって表現できることが違うことに気づきます。また当事者として経験したことも、時が経ってからやっと伝えられることがあるでしょう。

例えば同時代の事件を描けなかった江戸期の浮世絵は、故事や古典になぞらえて時事を伝えようとしてきました。また自身の軍隊経験を描いた浜田知明は、時を経るにつれ戦争の構造に迫る作品も発表していきます。

展覧会ではこうした視点から当館収蔵品を紹介するとともに、若手アーティストたちの作品も展示。なかでも特集する松元悠は、メディアやSNSが伝えるニュースの現場を訪れて想像を働かせ、当事者の姿を自画像で描くことで、日常と地続きにある「事件と人間の不可解さ」に分け入る注目のアーティストです。

本展を通じて過去、現在のアーティストが「出来事との距離」にいかに向き合ってきたかを探ります。



①



②



③



④



⑤



⑥

主な出品作家(生年順)
フランシスコ・ゴヤ、
月岡芳年、小林清親、
四代歌川国政、
畦地梅太郎、浜田知明、
馬場禱男、石井茂雄、
郭徳俊、松元悠、
土屋末沙、小野寺唯、
ソ・ジコ

- ① フランシスコ・ゴヤ
『戦争の惨禍』より「見るにたえない」
1810-20年、エッチング、ラヴィ、
ドライポイント、ビュラン
- ② 浜田知明《ボタンB》 1988年、
エッチング、アクアチント
- ③ 月岡芳年『魁題百撰相』より「森蘭丸」
明治元年(1868)、大判錦絵
- ④ 四代歌川国政
『鹿児島各県西南珍聞』より
「第7号 俗称西郷星之図」
明治10年(1877)、大判錦絵
- ⑤ 松元悠《悪い神様の耳を食べる(佐野市)》
2020年、リトグラフ、個人蔵
- ⑥ 土屋末沙『支配と自由の妄想ラン』 2022年、
木版、個人蔵

*表記がないものは当館所蔵

関連イベント

①アーティスト・トーク
6月17日(土)午後2時～ 45分程度
出演:松元悠(美術家、版画家)
会場:企画展示室 | 要本展当日有効観覧券

②ギャラリートーク
6月18日(日)、7月1日(土)
担当:町村悠香(本展担当学芸員)
各日午後2時～ 45分程度
会場:企画展示室 | 要本展当日有効観覧券

③プロムナードコンサート「戦争と日常 音楽で描かれた情景」
7月16日(日)午後1時～、3時～(各回30分程度) 演奏:江澤隆行(ピアノ) 会場:エントランスホール | 参加無料

※いずれも事前申込不要です。 ※中止・変更となる場合があります。詳しくは当館HPをご確認ください。

町田市立国際版画美術館
Machida City Museum of Graphic Arts

〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1 Tel.042-726-2771 <http://hanga-museum.jp/>
【お問い合わせ】町田市役所代表電話 042-722-3111

同時開催 特集展示「大正・昭和初期の東京風景 織田一磨を中心に」
6月14日(水)～9月24日(日) 常設展示室 入場無料



会期中のシルバーデー
(6/28)は町田駅前から
無料送迎バスを運行。
詳しくは当館HPを
ご覧ください。



混雑緩和のため、入場制限を行う場合があります。



小田急線・JR横浜線町田駅より徒歩約15分